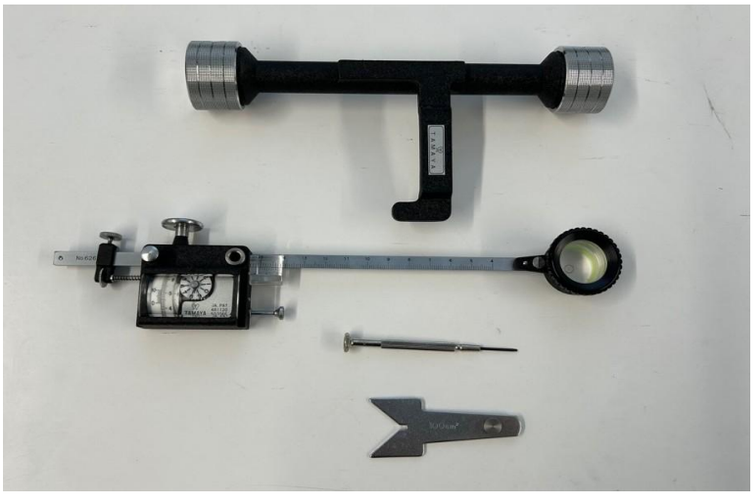
物 件 調 書

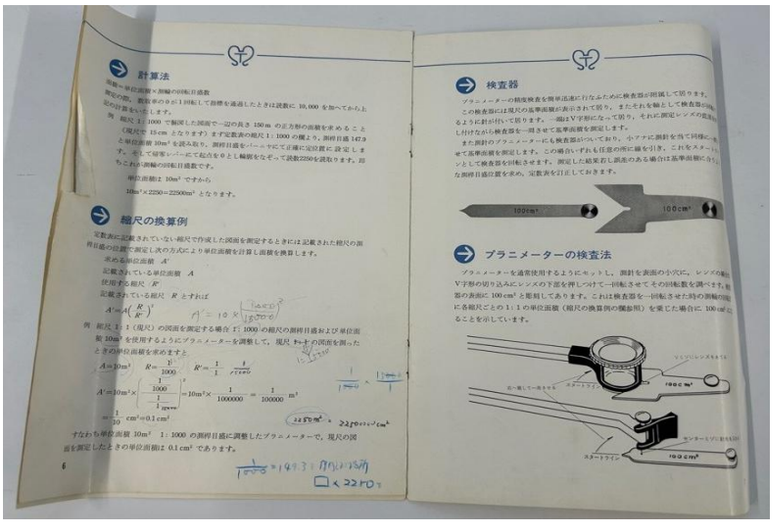
売払物件（令和８年度　物件番号８０４）

名　　称	**帰零式リニヤープラニメーター**
メ　ー　カ　ー	株式会社玉屋商店
数　　量	１台
入　　札 最 低 価 格	**3,000円（入札保証金：300円）**
規　格　等	・ハードケース、外箱、取扱説明書あり ・外箱サイズ　312mm×132mm×47mm（おおよその値） ・取扱説明書には、破れ、折れ、落書きがあります。
そ の 他	【注意事項】 ・中古品ですので、写真では判別できない傷や汚れ等があります。 ・商品の写真は犬山市職員が撮影したものです。撮影時の環境やご覧になる端末の環境設定などによっては、実物と色合いが異なる場合があります。 ・商品のサイズは犬山市職員が計測したものです。実際のサイズと誤差がある場合があります。 ・過去に業務で使用していたものですが、長期間（10年以上）使用していませんので、動作の保証はできません。 ・物件の不具合、不良等に関する一切の補償等はできません。 ・犬山市インターネット公有財産売却ガイドライン、入札公告、物件調書をよくお読みになり、ご理解いただいたうえでご参加ください。 ・犬山市は契約不適合責任を負いません。 ・売払代金を全額納付した時点で危険負担は落札者に移転します。したがって、その後に発生した財産の破損、焼失など犬山市の責に帰すことのできない損害の負担は、落札者が負うこととなり、売払代金の減額を請求することはできません。 ・いかなる理由があっても、引き渡した物件の返品・交換はできません。
画　像 ①	

物 件 調 書

売払物件（令和８年度　物件番号８０４）

画　像 ②	
画　像 ③	
画　像 ④	

画　像 ⑤	 **計算法** 面積＝単位面積×測幅の目盛数 測定の際、数字盤の０と１回転して指標を通過したときは読数に 10,000 を加へてから上記の計算をいたします。 例　縮尺 1：1000 で縮図した図面で一辺の長さ 150 m の正方形の面積を求めること（現尺で 15 cm となります）まず定数表の縮尺 1：1000 の欄より、測幅目盛 14 と単位面積 $10m^2$ を読み取り、測幅目盛をバーニヤにて正確に定位置に設定します。次いで縁取レバーにて起点を０とし輪郭をなぞって読数2250を読取ります。即ちこれが測幅の目盛数です。 単位面積は $10m^2$ ですから $10m^2 \times 2250 = 22500m^2$ となります。 **縮尺の換算例** 定数表に記載されていない縮尺で作成した図面を測定するときには記載された縮尺の測幅目盛の位置で測定し次の方式により単位面積を計算し面積を換算します。 求める単位面積　A' 記載されている単位面積　A 使用する縮尺　R' 記載されている縮尺　R とすれば $A' = A\left(\frac{R}{R'}\right)^2$ 例　縮尺 1：1（現尺）の図面を測定する場合 1：1000 の縮尺の測幅目盛および単位面積 $10m^2$ を使用するようにプラニメーターを調整して、現尺 1 cm の図面を測ったときの単位面積を求めますと $A=10m^2$　$R=\frac{1}{1000}$　$R'=\frac{1}{1}$ $A' = 10m^2 \times \left(\frac{\frac{1}{1000}}{\frac{1}{1}}\right)^2 = 10m^2 \times \frac{1}{1000000} = \frac{1}{100000}\ m^2$ $= \frac{1}{10} cm^2 = 0.1\ cm^2$ すなわち単位面積 $10m^2$　1：1000 の測幅目盛に調整したプラニメーターで、現尺の図面を測定したときの単位面積は 0.1 cm^2 であります。 6 **検査器** プラニメーターの精度検査を簡単迅速に行なふために検査器が附属して居ります。 この検査器には現尺の基準面積が表示されて居り、またそれを軸として検査器が回転するように針が付いて居ります。一端はV字形になって居り、それに測定レンズの基準点を合し付けながら検査器を一周させて基準面積を測定します。 また据針のプラニメーターにも検査器がついてあり、小アナに据針を当て同様に一周させて基準面積を測定します。この場合いずれも任意の所に線を引き、これをスタートラインとして検査器を回転させます。測定した結果若し誤差のある場合は基準面積に合うように必要な測幅目盛位置を求め、定数表を訂正しておきます。 100cm²　100cm² **プラニメーターの検査法** プラニメーターを通常使用するようにセットし、測針を表面の小穴に、レンズの軸をV字形の切り込みにレンズの下部を押しつけて一回転させてその回転数を調べます。検査器の表面に 100 cm^2 と記刻してあります。これは検査器を一回転させた時の測積の面積に各縮尺ごとの 1：1 の単位面積（縮尺の換算例の欄参照）を乗じた場合に 100 cm^2 となることを示しています。 100 cm²